



トヨタ ウェルキャブシリーズ



ウェルキャブ 助手席回転スライドシート車 取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

ALLION
PREMIO



1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 助手席回転
スライドシート

助手席回転スライドシートに関する説明

3 手動車いす用
固定装置・収納装置
(電動式)

手動車いす用固定装置・収納装置に関する説明

4 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

5 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

イラスト目次	4
本書の見方	8

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために	
助手席回転スライドシートについて	10
車いす・手動車いす用収納装置（B タイプ）の固定について	14

2 助手席回転スライドシート

2-1. 助手席回転スライドシート	
助手席回転スライドシートの調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト	20
フットレスト	21
正しい乗車姿勢	22
2-2. 操作のしかた	
助手席回転スライドシートの操作をするときは	23
助手席回転スライドシートを車外に出すときは	27
助手席回転スライドシートを車内にもどすときは	30

3 手動車いす用固定装置・収納装置（電動式）

3-1. 準備	
車いすの収納・固定前の準備	34
3-2. 車いすの収納・固定（A タイプ）	
収納のしかた（A タイプ）	40
トランク外への出しかた（A タイプ）	44
3-3. 車いすの収納・固定（B タイプ）	
収納のしかた（B タイプ）	47
トランク外への出しかた（B タイプ）	59
3-4. ラゲージマットの取りはずし	
ラゲージマットを取りはずすときは	69

4 万一の場合には

4-1. 故障かな？とお考えになる前に	
ヒューズの交換（B タイプ）	72
助手席回転スライドシートが動かないときは	74
手動車いす用収納装置（電動式）が動かないときは（B タイプ）	75
4-2. 緊急時の対処法	
助手席回転スライドシートが車外に出た状態で動かないときは	76

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 80

さくいん

こんなときは

(症状別さくいん) 82

五十音順さくいん 83

1

2

3

4

5

本書はウェルキャブ 助手席回転スライドシート車の装備について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次

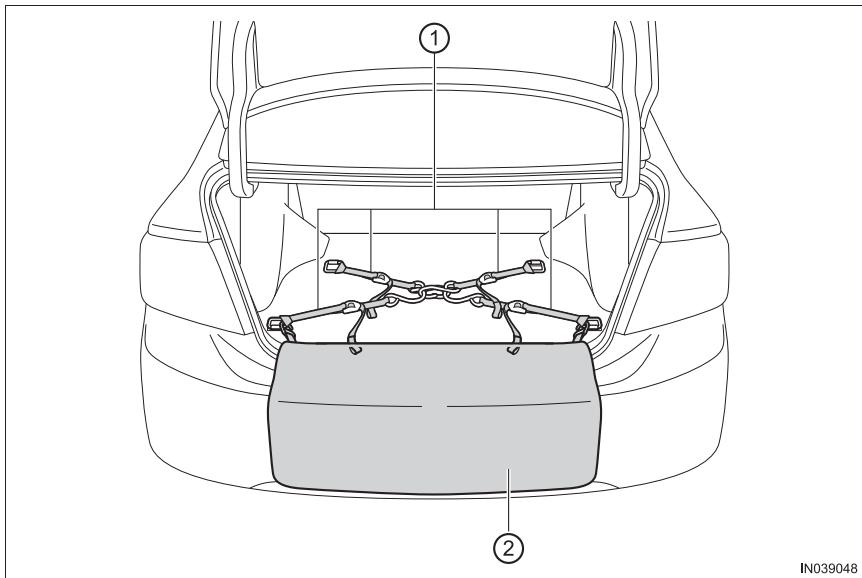
■助手席回転スライドシート



IN039001

① ヘッドレスト	P. 18
② アームレスト	P. 20
③ フットレスト	P. 21
④ スライドレバー	P. 16
⑤ 回転レバー	P. 28, 31
⑥ リクライニングレバー	P. 16

■ 手動車いす用固定装置（A タイプ）

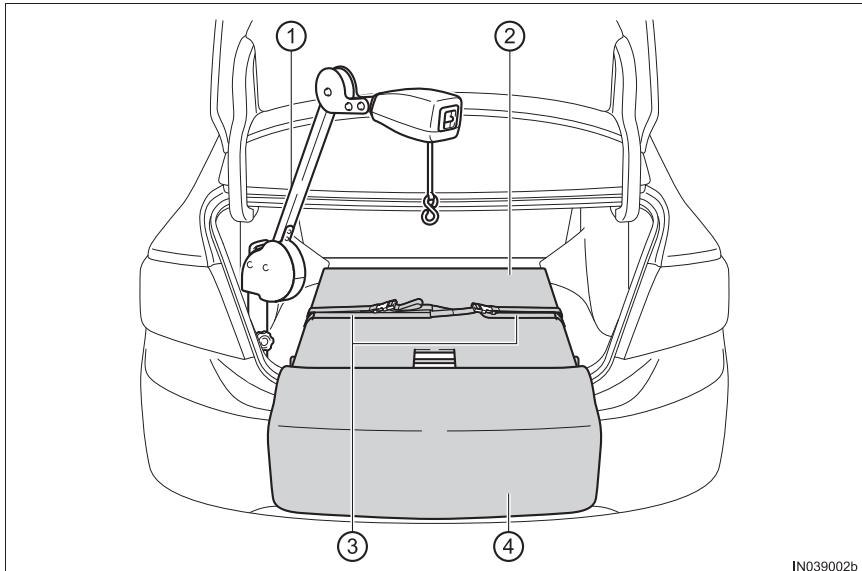


① 車いす固定ベルト

固定のしかた P. 42, 45

解除のしかた P. 41, 44

② ガードマット P. 40, 44

■ 手動車いす用固定装置（B タイプ）**■ 手動車いす用収納装置（電動式）（B タイプ）**

- ① 手動車いす用収納装置（電動式） P. 48, 60
② 収納ボード P. 36, 37
③ 車いす固定ベルト
 固定のしかた P. 53, 65
 解除のしかた P. 50, 62
④ ガードマット P. 47, 59

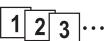
本書の見方



警告 お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



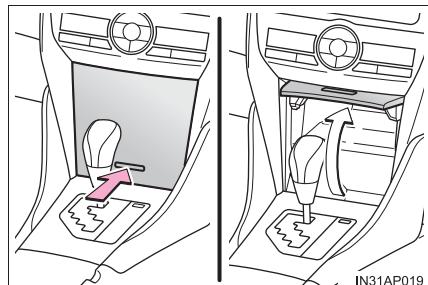
注意 お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



1 2 3… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

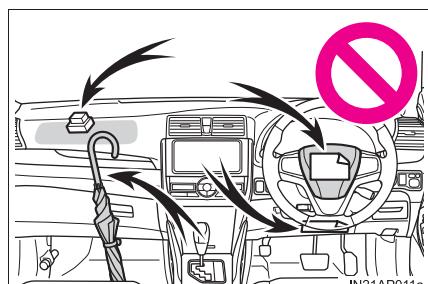
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

🚫 “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



知識 機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために ～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために	
助手席回転スライドシートについて	10
車いす・手動車いす用 収納装置（Bタイプ）の 固定について	14

助手席回転スライドシートについて

本書におけるウェルキャブ 助手席回転スライドシート車の操作はすべて介助の方が行ってください。

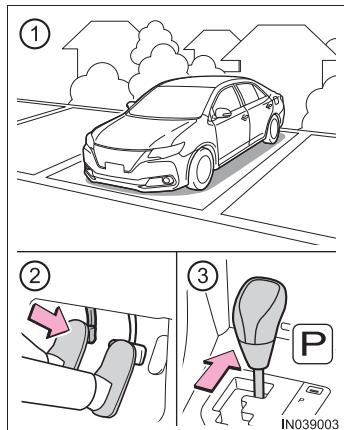
この項目では、助手席回転スライドシートについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠ 警告

■ 操作および車いすを収納するときは

不整地や傾斜地で操作しないでください。
車いす・助手席回転スライドシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ① 平坦な場所で操作
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーを P の位置にする



■ 操作する前に

必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席回転スライドシート操作時、助手席回転スライドシート乗車の方の手足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。



⚠️ 警告

■ チャイルドシートの装着禁止

助手席回転スライドシートにチャイルドシートを装着しないでください。
装置の破損や、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■ 乗り降りするときは

乗り降りする方の頭上の十分な安全確認をしてください。

ドア開口部に頭部をあて、けがをするおそれがあります。

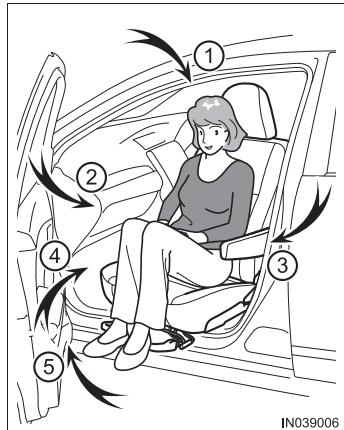
- ① 乗車時
- ② 降車時



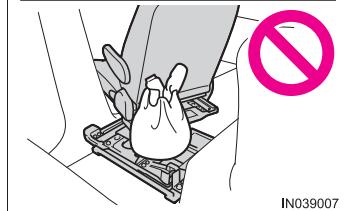
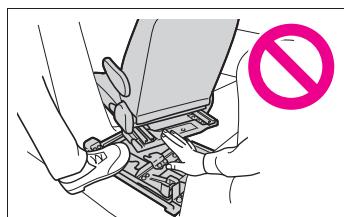
⚠️ 警告

■操作するときは

- 正しい姿勢で乗車してください。
(→ P. 22)
- 乗員の体について十分な安全確認をしてください。
助手席回転スライドシートを回転・スライドさせるときに、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - ① ドア開口部と頭部の接触に注意する
 - ② インストルメントパネルに足をぶつけないように注意する
 - ③ ドア開口部と助手席回転スライドシートのすき間に挟まれないように注意する
 - ④ インストルメントパネルと助手席回転スライドシートのすき間に挟まれないように注意する
 - ⑤ ドアと足の接触に注意する
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 助手席回転スライドシート作動時、助手席回転スライドシートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。



IN039006



IN039007

⚠️ 警告

■ 強風時の助手席ドアについて

強風時、助手席ドアが閉まることがあります。

助手席ドアが助手席回転スライドシートおよび乗員にあたり、けがをするおそれがありますので、注意してください。



■ 助手席回転スライドシートを車内に格納したときは

助手席回転スライドシートを前後左右にゆすり、助手席回転スライドシートが確実に格納位置で固定されているか確認してください。

確実に固定されていないと、走行中に助手席回転スライドシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



■ 助手席回転スライドシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱書の『シートベルト』)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



車いす・手動車いす用収納装置（B タイプ）の固定について

車いす・手動車いす用収納装置の固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

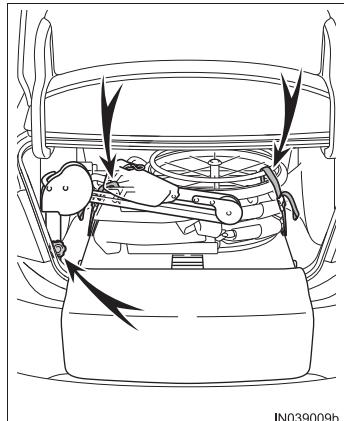
⚠ 注意

■ 車いす・手動車いす用収納装置の固定確認

確実に固定されているか確認してください。

車いすや手動車いす用収納装置のアームが動いて車両や車いすが損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



IN039009b

助手席回転 スライドシート

2

2-1. 助手席回転スライドシート

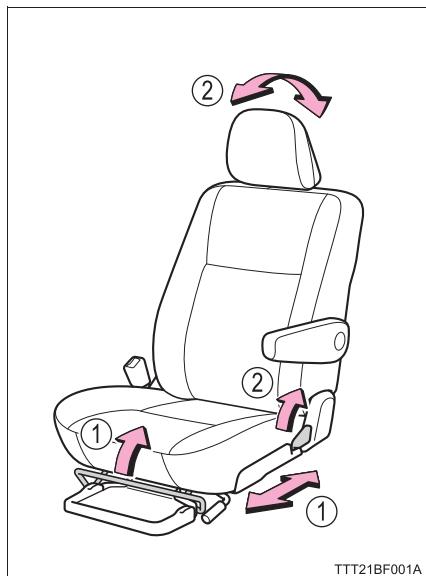
助手席回転スライドシートの 調整	16
ヘッドレスト.....	18
アームレスト.....	20
フットレスト.....	21
正しい乗車姿勢.....	22

2-2. 操作のしかた

助手席回転スライドシートの 操作をするときは	23
助手席回転スライドシートを 車外に出すときは	27
助手席回転スライドシートを 車内にもどすときは	30

助手席回転スライドシートの調整

- ① 前後位置調整
(スライドレバー)
- ② リクライニング調整
(リクライニングレバー)



TTT21BF001A

□ 知識

■ 助手席回転スライドシートの前後スライド量について

回転開始位置から後方に 90mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

助手席回転スライドシートはフラットシートにすることはできません。

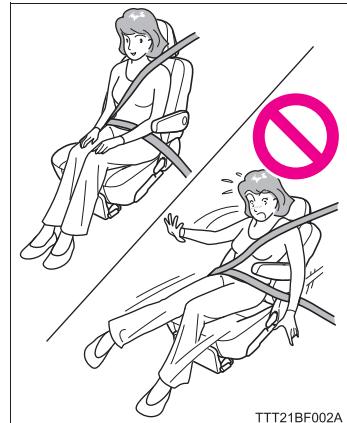
■ 助手席回転スライドシートのリクライニング角度について

助手席回転スライドシートのリクライニング角度は運転席シートとは異なります。

⚠️ 警告

■助手席回転スライドシート調整について

- 助手席回転スライドシートが乗員や荷物にあたらないように注意してください。
- 背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。
- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。
事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。
背もたれを押さえずにレバーを操作すると背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。
- 助手席回転スライドシート調整後は、助手席回転スライドシートを前後左右にゆすり、助手席回転スライドシートが確実に固定されているか確認してください。
確実に固定されていないと、走行中に助手席回転スライドシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠️ 注意

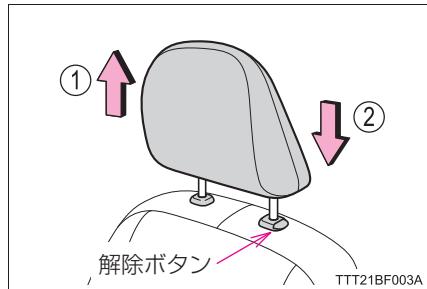
■故障などを防ぐために

スライドレバーと回転レバーを同時に操作しないでください。
正しい位置に助手席回転スライドシートが移動しなくなるおそれがあります。

ヘッドレスト

- ① 上げる
- ② 下げる

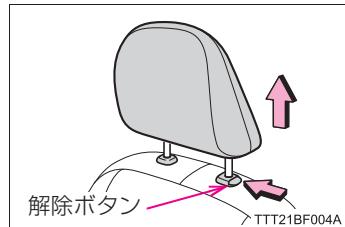
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

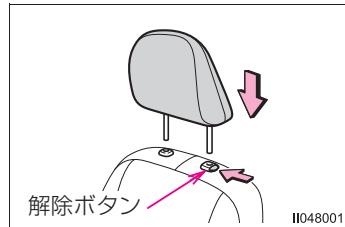
■ ヘッドレストを取りはずすときは

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



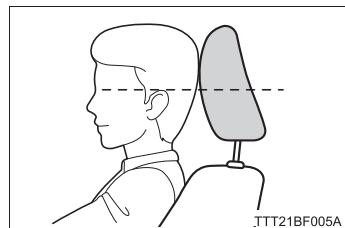
■ ヘッドレストを取り付けるときは

- ① 解除ボタンを押しながらヘッドレスト取り付け穴に合わせて挿し込みます。
- ② 解除ボタンから指を離し、ロック位置まで押し下げます。
- ③ さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



■ ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



⚠️ 警告

■ ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

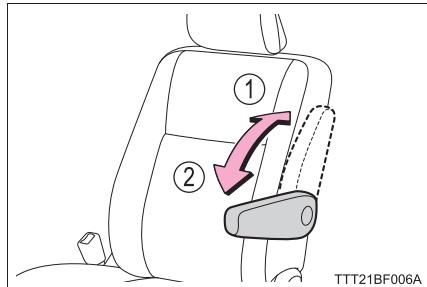
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストは正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

アームレスト

助手席回転スライドシートの回転およびスライド操作は、アームレストをいっぱいまで下げる状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



TTT21BF006A

□ 知識

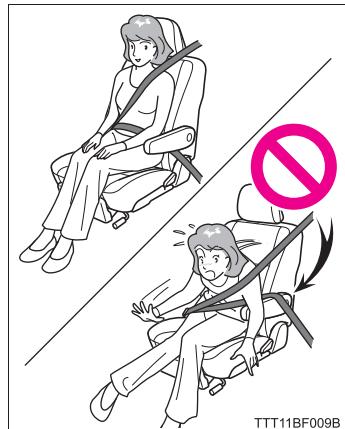
■ シートベルトの着用について

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

⚠ 警告

■ シートベルトを着用するときは

シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。
アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

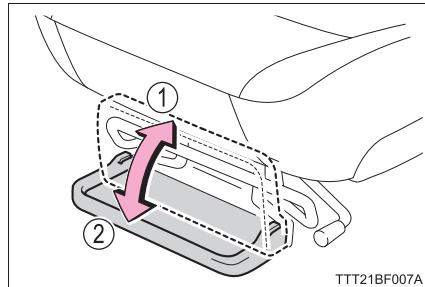


TTT11BF009B

フットレスト

助手席回転スライドシートの回転およびスライド操作は、フットレストをいっぱいまで下げる状態で行います。

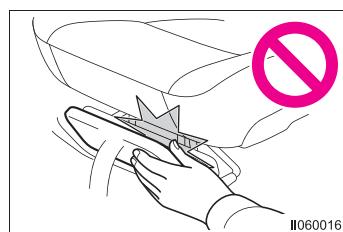
- ① 上げる
- ② 下げる



警告

■ フットレストを操作するときは

必ずフットレスト先端部を持って操作してください。
回転部近くを持つと指などを挟み、けがをするおそれがあります。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① 背もたれをいちばん起こした状態で座る
- ② アームレストを下げ、左腕をアームレストの内側におき、右腕を助手席回転スライドシートの内側に収まるようにする
- ③ 両ひざをそろえて助手席回転スライドシートの内側に収まるように座る
- ④ フットレストを下げ、両足をフットレストにのせる

フットレストに足をのせることができない場合は、足が助手席回転スライドシートとボディーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



IN039010

⚠️ 警告

■ 乗車のときは

- 助手席回転スライドシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボディーにあたり、座った状態での助手席回転スライドシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がりないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

助手席回転スライドシートの操作をするときは

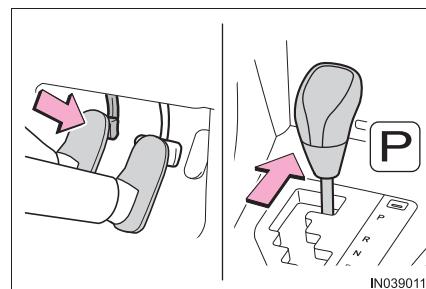
助手席回転スライドシートは、シートを回転・スライドさせ、車外へ出すことができます。

操作はすべて介助の方が行ってください。

格納後は助手席回転スライドシートを前後左右にゆすり、助手席回転スライドシートが確実に格納位置で固定されたことを確認してください。

助手席回転スライドシートを操作する前に

- 1** 安全で平坦な場所に停車し、パークリングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする



- 2** 助手席ドアを全開にする
3 助手席回転スライドシートの周囲および作動範囲内に、人や荷物がないことを確認する
4 助手席回転スライドシートのシートベルトをはずす

- 5** 助手席回転スライドシートを回転・スライドするときは、助手席回転スライドシートを次の状態に調整する

① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする

② 背もたれをいちばん起こした位置にする

③ アームレストをいちばん下げた位置にする

④ フットレストをいちばん下げた位置にする

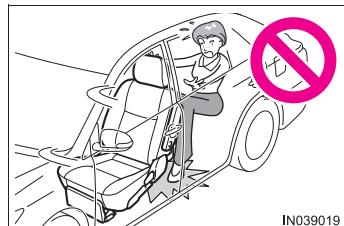
- 6** 室内装備が次の状態になっていることを確認する

- ・ グローブボックスおよびコンソールボックスのフタが閉まっていること
- ・ サンバイザーが格納されていること

⚠️ 警告

■助手席回転スライドシートを操作する前に

- 助手席回転スライドシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボディにあたり、座った状態での助手席回転スライドシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。 (→ P. 10)
車いすや助手席回転スライドシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 必ず助手席側リヤシートの同乗者の安全を確認してください。
助手席回転スライドシートを操作するとき、助手席回転スライドシートと車両のあいだに足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



IN039019

- 必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席回転スライドシート操作時、助手席回転スライドシート乗車の方の手足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。



IN039004

- 助手席回転スライドシートのシートベルトが確実にはずしてあること、およびシートベルトがアームレストに引っかかっていないことを確認してください。
シートベルトがアームレストに引っかかったまま助手席回転スライドシートを操作すると、シートベルトが体にかかってけがをしたり、助手席回転スライドシートが故障するおそれがあります。

⚠️ 警告

■ 助手席回転スライドシートを操作するときは

- 助手席回転スライドシート乗車の方の頭上や手足に注意してください。
頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。 (→ P. 12)



- 助手席回転スライドシート作動時、シートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。

手足を挟まれけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。
(→ P. 12)

- 助手席回転スライドシートを持って操作してください。

助手席回転スライドシートの下に手を入れると、手を挟まれけがをするおそれがあります。

- フットレストの上で立ち上がらないでください。

フットレストから落ちてけがをしたり、フットレストが破損するおそれがあります。

- アームレストをいちばん下げた位置で使用してください。 (→ P. 20)

正しく使用しないと乗車姿勢が不安定になったり、転落のおそれがあります。
(→ P. 22)

- グローブボックスのフタを閉めてください。

助手席回転スライドシート乗車の方の手足がフタにあたってけがをしたり、フタが破損するおそれがあります。

- サンバイザーを格納してください。

サンバイザーに頭やヘッドレストをあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 強風時の助手席ドアについて

→ P. 13

■ チャイルドシートの装着禁止

→ P. 11

 **注意****■故障・破損などを防ぐために**

- スライドレバーと回転レバーを同時に操作しないでください。
正しい位置に助手席回転スライドシートが移動しなくなるおそれがあります。
- 助手席回転スライドシートを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
- コンソールボックスを閉めておいてください。
フタが開いたまま助手席回転スライドシートを操作すると、助手席回転スライドシートとフタがあたり、破損するおそれがあります。

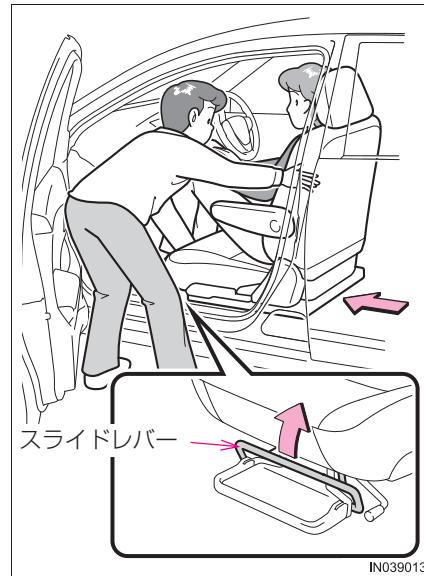
助手席回転スライドシートを車外に出すときは

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・助手席回転スライドシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること
(→ P. 22)
- ・助手席回転スライドシートでシートベルトを着用していないこと
- ・助手席回転スライドシートおよび車両の状態 (→ P. 23)
- ・助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 24)

2 スライドレバーを引き上げたまま 助手席回転スライドシートを持って、助手席回転スライドシートをいちばん前まで移動させる

助手席回転スライドシートがいちばん前でロックしたことを確認します。



3 助手席回転スライドシートを車外に回転させる

- ① 回転レバーを手前に引いてロックを解除する
- ② 助手席回転スライドシートを持って、ロックする位置まで助手席回転スライドシートを回転させる
 - ・助手席回転スライドシートが動き始めたら、回転レバーから手を離します。
 - ・助手席回転スライドシートが回転完了位置でロックしたことを確認します。



IN039014

4 スライドレバーを引き上げたまま助手席回転スライドシートを持って、停止する位置まで助手席回転スライドシートを引き出す

助手席回転スライドシートがいちばん前でロックしたことを確認します。



IN039015

 知識

■回転レバーについて

- 助手席回転スライドシートの前後位置がいちばん前以外の位置では、助手席回転スライドシートを回転させることはできません。
- 回転レバーを操作したままだと助手席回転スライドシートがロックされません。助手席回転スライドシートが動き始めたら、回転レバーから手を離してください。

■スライドレバーについて

助手席回転スライドシートがいっぱいまで車外に回転していないと、助手席回転スライドシートを引き出すことができません。

 警告

■助手席回転スライドシートを操作する前に

→ P. 24

■助手席回転スライドシートを操作するときは

→ P. 25

■助手席回転スライドシートを車外に出すときは

助手席回転スライドシートをいきおいよく回転させたり引き出したりしないでください。

助手席回転スライドシート乗車の方が助手席ドアなどにあたり、けがをすることがあります。

■助手席回転スライドシートを車外に出したときは

助手席回転スライドシートを前後左右にゆすり、助手席回転スライドシートが確実に回転した位置でロックしたことを確認してください。

確実にロックしていないと移乗時に助手席回転スライドシートが動き、助手席回転スライドシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意

■故障や損傷を防ぐために

助手席回転スライドシートを車外に出したまま放置しないでください。
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形や凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

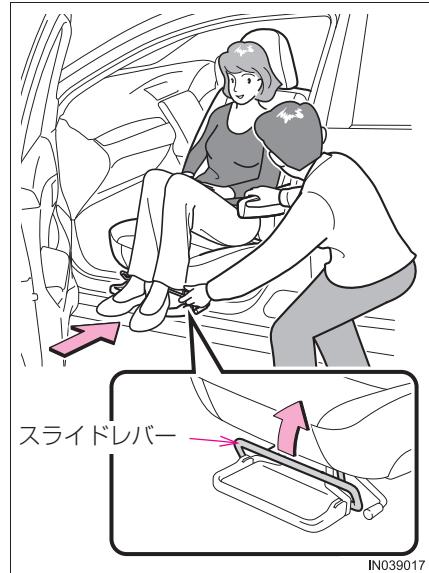
助手席回転スライドシートを車内にもどすときは

① 操作前に、次の状態を確認する

- ・助手席回転スライドシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること
(→ P. 22)
- ・助手席回転スライドシートおよび車両の状態 (→ P. 23)
- ・助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 24)

② スライドレバーを引き上げたまま助手席回転スライドシートを持って、停止する位置まで助手席回転スライドシートを押し込む

助手席回転スライドシートがいちばんうしろでロックしたことを確認します。



3 助手席回転スライドシートを車内に回転させる

- ① 回転レバーを手前に引いてロックを解除する
- ② 助手席回転スライドシートを持って、ロックする位置まで助手席回転スライドシートを回転させる
 - ・助手席回転スライドシートが動き始めたら、回転レバーから手を離します。
 - ・助手席回転スライドシートが回転完了位置でロックしたことを確認します。



IN039018

4 必要に応じて助手席回転スライドシートの調整 (→ P. 16, 18, 20, 21) をし、走行前に必ずシートベルトを着用する (→ P. 13)

正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。

5 助手席ドアを閉める

 知識

■回転レバーについて

- 助手席回転スライドシートが完全に押し込まれ、ロックされた位置以外では、助手席回転スライドシートを回転させることはできません。
- 回転レバーを操作したままだと助手席回転スライドシートがロックされません。助手席回転スライドシートが動き始めたら、回転レバーから手を離してください。

■スライドレバーについて

助手席回転スライドシートがいっぱいまで車内に回転していないと、助手席回転スライドシートの前後位置調整をすることができません。

 警告

■助手席回転スライドシートを操作する前に

→ P. 24

■助手席回転スライドシートを操作するときは

→ P. 25

■助手席回転スライドシートを車内にもどすときは

助手席回転スライドシートをいきおいよく押し込んだり回転させたりしないでください。

助手席回転スライドシート乗車の方がドア開口部などにあたり、けがをすることがあります。

■助手席回転スライドシートを車内に格納したときは

→ P. 13

手動車いす用固定装置・ 収納装置（電動式）

3

3-1. 準備

車いすの収納・
固定前の準備 34

3-2. 車いすの収納・固定 (A タイプ)

収納のしかた (A タイプ) 40
トランク外への出しかた
(A タイプ) 44

3-3. 車いすの収納・固定 (B タイプ)

収納のしかた (B タイプ) 47
トランク外への出しかた
(B タイプ) 59

3-4. ラゲージマットの取りはずし

ラゲージマットを
取りはずすときは 69

車いすの収納・固定前の準備

A タイプと B タイプでは車いすの収納・固定方法が異なります。
お乗りのお車に該当するページを参照してください。

◆ A タイプ：手動車いす用固定装置

→ P. 34, 40, 44, 69

トランク内に収納した車いすをベルトで固定できます。

◆ B タイプ：手動車いす用固定装置・手動車いす用収納装置（電動式）

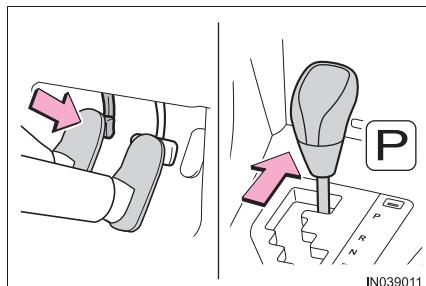
→ P. 34, 47, 59, 69

- 手動車いす用収納装置は 30kg まで吊り上げることができ、車いすのトランク内への出し入れを補助します。
- トランク内に収納した車いすは収納ボード上に寝かせ、ベルトで固定できます。

車いすを出し入れする前に

- ① 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする

B タイプにお乗りの方は、エンジンをかけたままにしておきます。



- ② トランクリッドを全開にする

- ③ リヤシートの背もたれをいちばん起こした位置にする
(→標準車取扱書の『リヤシート』)

車いす固定ベルトの車両への取り付け

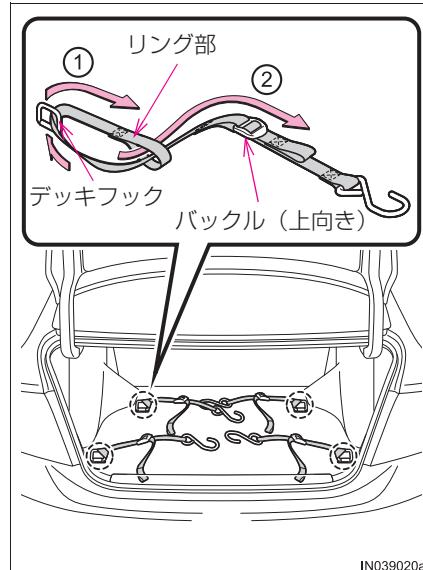
車いす固定ベルトが車両に取り付けられていない場合は、以下の手順で取り付けてください。

▶ A タイプ

- 1** 車いす固定ベルトをトランクから取り出す
- 2** 車いす固定ベルトを確実に取り付ける

- ① 車いす固定ベルトのリング部をトランク床面のデッキフックに通す
- ② 車いす固定ベルトをリング部に通して引っ張り、確実に取り付ける

バックルが上側を向いていることを確認します。(バックルが下側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください)



▶ B タイプ

車いす固定ベルトは収納ボードに取り付けられています。 (→ P. 50)

収納ボードのセットのしかた (B タイプ)

車いすを収納する前に、以下の手順で収納ボードをセットしてください。

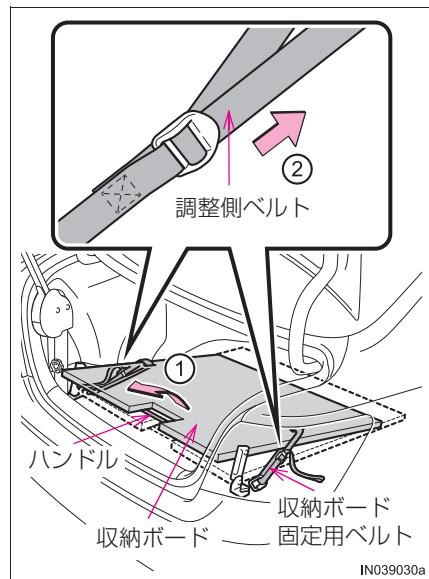
① 手動車いす用収納装置をセットした状態にする (→ P. 48)

② 収納ボードをセットする

① 収納ボード手前のハンドルを持ち、手前に起こす

② 収納ボード固定用ベルトの調整側ベルトを引っ張り、収納ボードを確実にセットする

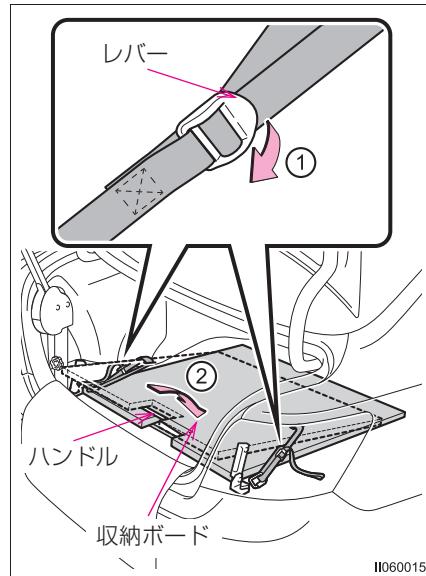
収納ボードを前後左右にゆすり、確実にセットされていることを確認します



収納ボードの格納のしかた (B タイプ)

トランクを広く使いたいとき、または車いすを長期間収納しないときは、収納ボードを格納します。

- ① ベルトのバックルのレバーを引き上げ、ベルトをゆるめる
- ② 収納ボードのハンドルを持って、トランク床面に降ろす



 知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは下表のサイズのものになります。

全高 ^{※1}	全長	折りたたみ幅	重量 ^{※2}
			

^{※1} 全高は車いすの背もたれを折りたたんだ状態の寸法です。

^{※2} 重量は手動車いす用収納装置での吊り上げが可能な重さです。

■ 車いすを収納・固定するときは

- トランクリッドが全開になっていることを確認してください。
全開にしないと、トランクリッドと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。
- リヤシートの背もたれ角度を、いちばん起こした位置にしてください。
車いすをトランク内に収納・固定した状態では、リヤシートの背もたれが車いすにあたり、リクライニングをさせることができません。
- B タイプにお乗りの方は、収納ボードをセットしてから車いすを収納してください。 (→ P. 36)
収納ボードをセットしないと、車いすの収納が困難になります。

警告

■ 収納ボードをセット・格納するときは

頭上に注意してください。

手動車いす用収納装置やトランクリッドに手や頭をあて、けがをするおそれがあります。

■ 車いすを収納・固定するときは

必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P の位置にしてください。 (→ P. 10)

車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■ 損傷を防ぐために

- 車いすを収納する前にトランク内に荷物がないことを確認してください。
車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。
- 車いすを収納した状態でリヤシートの背もたれを無理にリクライニングしないでください。
車いすと干渉させたままにしておくと、車いすや固定装置、収納装置などに思わぬ損傷をあたえるおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防ぐために（B タイプ）

手動車いす用収納装置の操作をするときは、エンジンをかけておいてください。エンジンを停止した状態で操作すると、バッテリーあがりの原因になります。

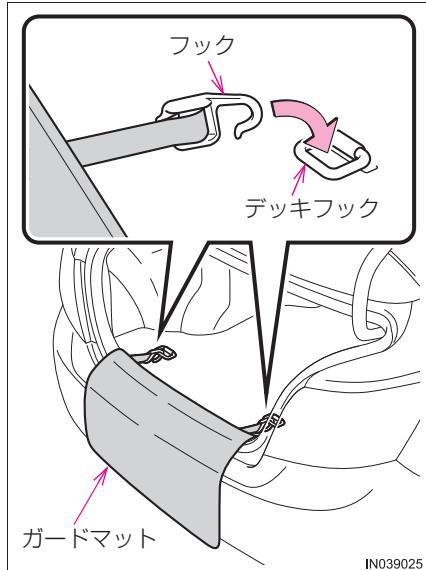
収納のしかた（A タイプ）

車いすを収納するときは次のように行ってください。

車いすをトランク内に入れるときは

- ① ガードマットのフックをトランク内のデッキフックに引っかける

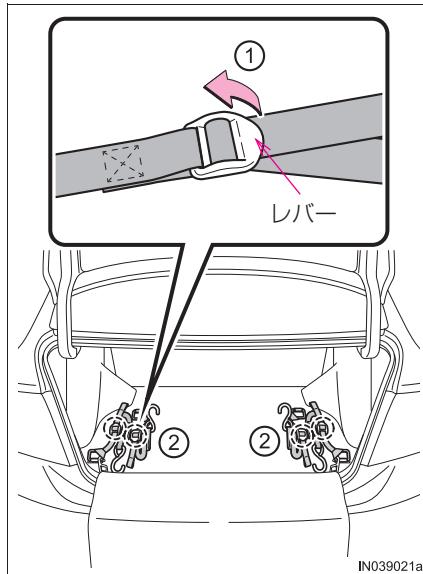
- ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
- 車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



IN039025

- 2** 車いす固定ベルトをゆるめて、トランク内中央に何も置かれていない状態にする

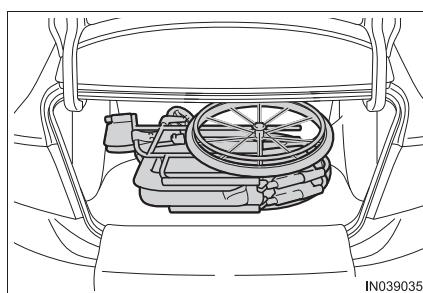
- ① すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる
- ② 車いす固定ベルトはトランクのすみによけておく



IN039021a

- 3** 車いすのブレーキを両輪ともかけ、車いすを折りたたんだ状態で収納する

トランク床面に、車いすを寝かせた状態で収納します。



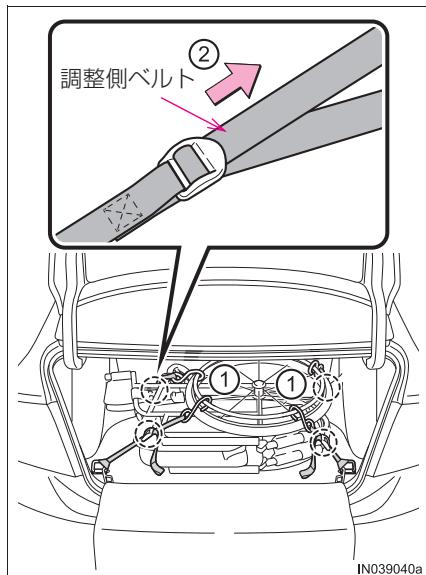
IN039035

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 車いす固定ベルトのフックを車いすのフレームおよび後輪のハンドリムに引っかける（4 本とも）
- ② 車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する（4 本とも）



固定後、走行する前に

- 1 ガードマットをトランク内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

- 2 トランクリッドを閉める

トランクリッドを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすの手押しハンドルなどがトランクリッドにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

 知識

■車いす固定ベルトについて

車いすを収納するときは、車いす固定ベルトをトランク内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルトの操作が困難になります。

■車いすについて

ハンドル、ステップが折りたためる車いすをお使いの場合、それらを折りたたむことにより車いすの収納が容易になります。

 警告

■車いすを収納するときは

- 手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。
- 頭上に注意してください。
トランクリッドに手や頭をあて、けがをするおそれがあります。

 注意

■車いすを固定するときは

- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
走行中に車いすがトランクにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- トランクリッドはゆっくりと閉めてください。
トランクリッドをいきおいよく閉めると、車いすがトランクリッドにあたり、損傷するおそれがあります。

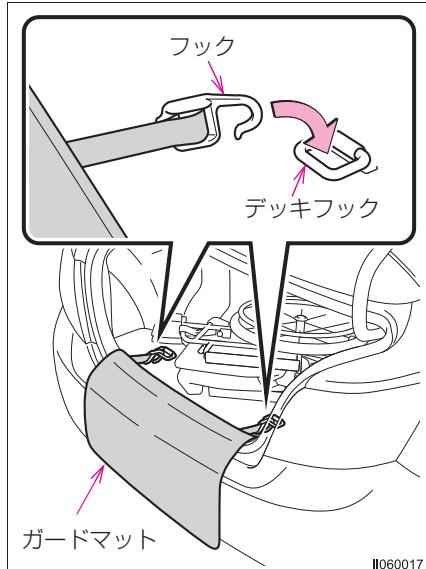
トランク外への出しかた（A タイプ）

車いすをトランク外に出すときは次のように行ってください。

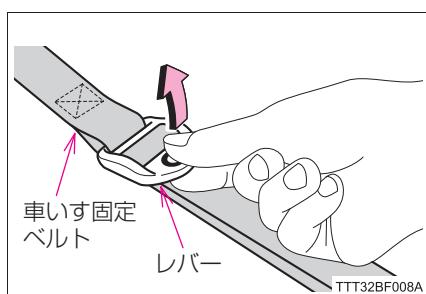
車いすをトランク外に出すときは

1 ガードマットのフックをトランク内のデッキフックに引っかける

- ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
- 車いすをトランク外に出すときに、バンパーの傷付きを防止します。



2 車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる（4 本とも）

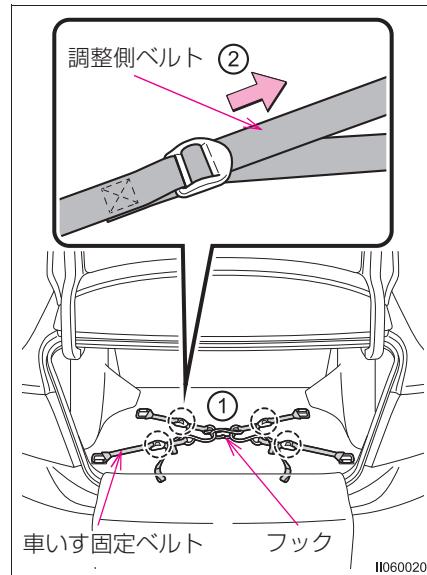


3 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトのフックを取りはずす（4 本とも）

4 車いすをトランク外に出す

5 車いす固定ベルトがトランク外に出ないように固定する

- ① 車いす固定ベルトのフックを
それぞれ引っかける
- ② 調整側ベルトを引っ張り、フック
が走行中にはずれないよう
にする



6 ガードマットをトランク内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

7 トランクリッドを閉める

 知識**■車いすを収納・固定しないときは**

車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルトをトランクリッドに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。（→ P. 45）

収納のしかた（B タイプ）

手動車いす用収納装置は 30kg までの車いすを吊り上げることができ、車いすのトランクへの出し入れを補助します。

車いすをトランク内に入れる前に

- 1 安全で平坦な場所にエンジンを作動状態のまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする（→ P. 34）
- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する
- 3 収納ボードがセットされていることを確認する（→ P. 36）
- 4 ガードマットのフックをトランク内のデッキフックに引っかける
 - ・ ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
 - ・ 車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



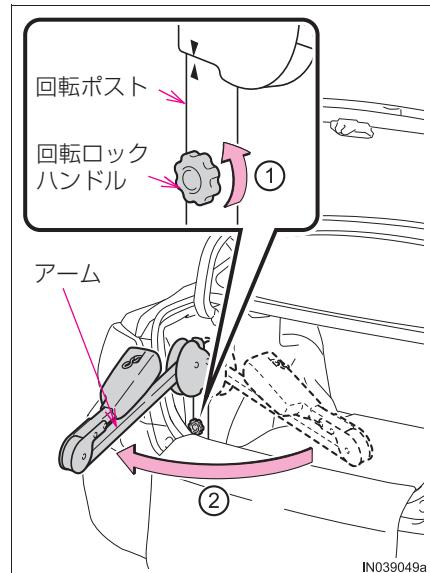
手動車いす用収納装置（電動式）のセットのしかた

1 アームを回転させる

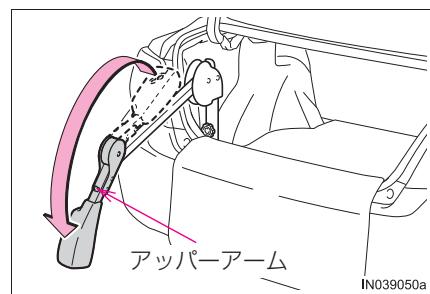
- ① 回転ロックハンドルを左にまわし、アームの回転ロックを解除する

回転ロックハンドルはまわし過ぎないようにしてください。（まわし過ぎると回転ポストからはずれます）

- ② アームをトランク外にいっぺりまで回転させる



2 アッパーアームを起こす

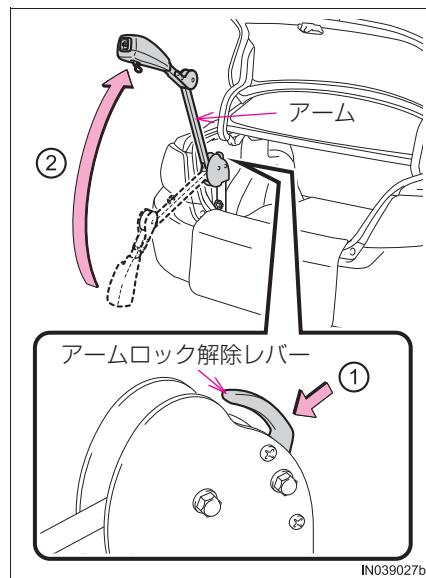


3 アームを起こす

① アームを少し押し下げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

② アームを起こす

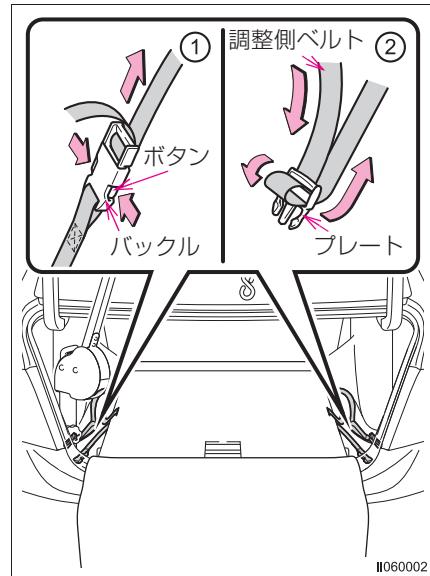
アームをいっぱいまで起こすと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



車いすをトランク内に収納・固定するときは

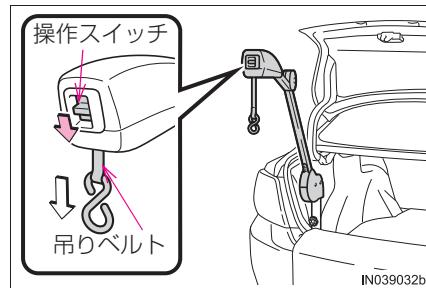
車いす固定ベルトをゆるめて、収納ボード中央に何も置かれていらない状態にします。

- ① 車いす固定ベルトのバックルのボタンを押してロックを解除します。
- ② 車いす固定ベルトの調整側ベルトをプレート側に押し込んで下側のベルトを引き、車いす固定ベルトをゆるめておきます。
- ③ 車いす固定ベルトは収納ボードのすみによっておきます。

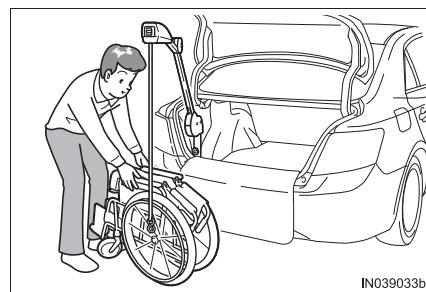


車いすの吊り上げ・収納のしかた

- 1 操作スイッチを下に押し続け、車いすに吊りベルトがかけられる長さまで、吊りベルトを引き出す**
- 十分な長さまで吊りベルトを引き出したら、スイッチから指を離してください。
 - 吊りベルトは引き出しすぎないでください。(→ P. 55)

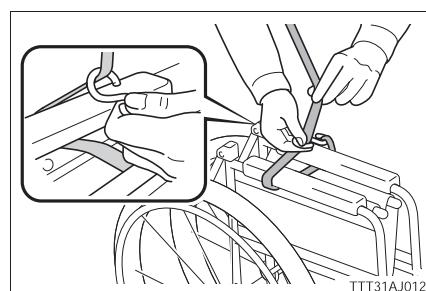


- 2 車いすを折りたたみ、車いすの前輪を車両左側にして後輪のブレーキを両輪ともかける**
- 車いすのブレーキのかけ方、折りたたみ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。
 - P. 38 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。



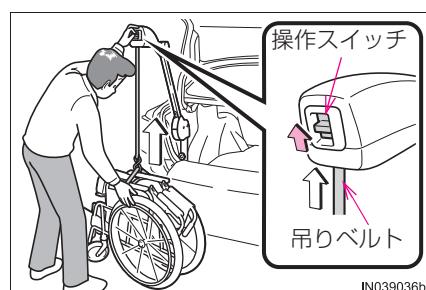
- 3 吊りベルトを車いすにセットする**

車いすの前後のバランスがとりやすくなるように、吊りベルトをアームレスト・車輪・ハンドリムなどに通し、吊りベルトにフックを引っかけます。

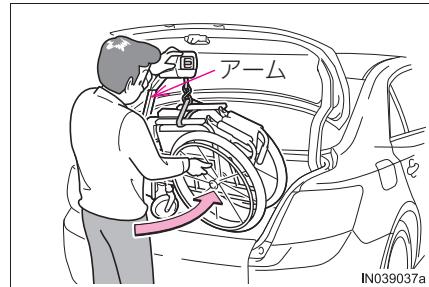


- 4 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトを巻き上げ、車いすを吊り上げる**

車いすに手を添えて吊り上げてください。

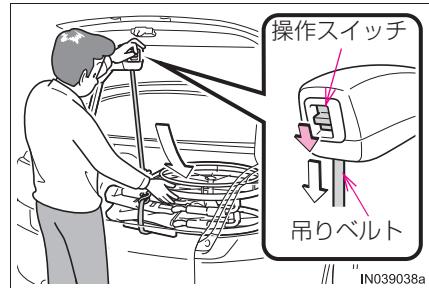


- 5 車いすをアームごとトランク内に回転・収納する



- 6 操作スイッチを下に押し続け、吊りベルトを引き出し、車いすを収納ボード上に降ろす

車いすに手を添えて降ろしてください。



- 7 吊りベルトを車いすからはずす

- 8 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトをいっぱいまで巻き上げる

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

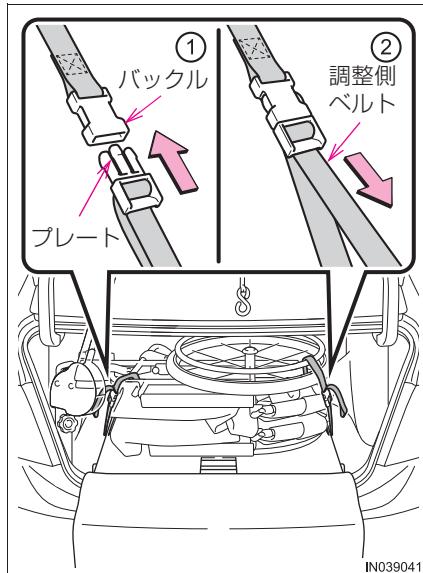
ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 車いす固定ベルトを通し、プレートをバックルに挿し込む

左側：ステップのフレームに通す。

右側：車いすの後輪に通す。

- ② 左右の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実にロックする



IN039041

手動車いす用収納装置（電動式）の格納のしかた

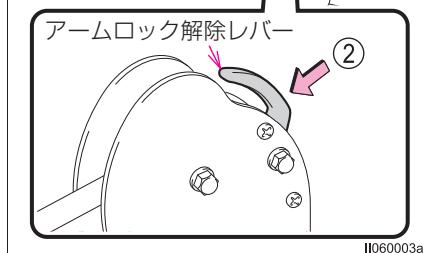
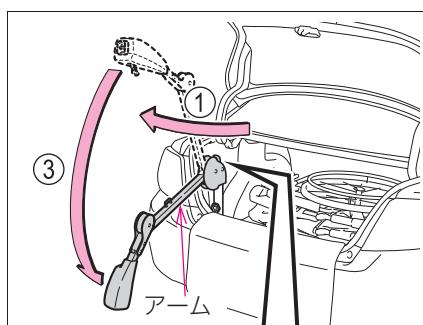
- ① アームを倒す

① アームをトランク外にいっぽいまで回転させる

② アームを少し持ち上げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

- ③ アームを倒す

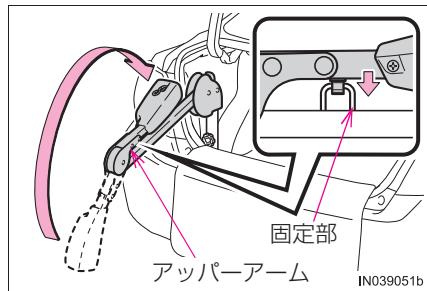
アームをいっぽいまで倒すと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



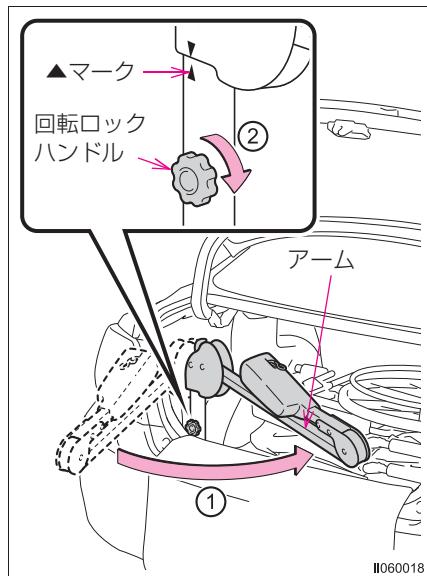
II060003a

[2] アッパーームを格納する

固定部がしっかりとロックされたことを確認します。

**[3] アームを固定する**

- ① アームを▲マークが合う位置まで回転させる
- ② 回転ロックハンドルを右にまわし、アームの回転をロックさせる



■ 固定後、走行する前に

① ガードマットをトランク内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

② トランクリッドを閉める

- トランクリッドを閉めるときは、車いすを挟み込まないことおよび手動車いす用収納装置などがトランクリッドにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。
- ただちに走行しないときはエンジンを停止します。

□ 知識

■ 車いす固定ベルトについて

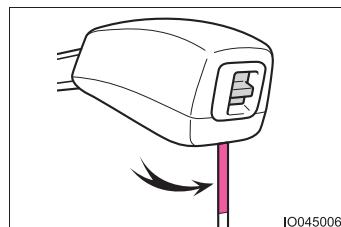
車いすを収納するときは、車いす固定ベルトを収納ボード上に放置しておかないとください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルトの操作が困難になります。

■ 車いすについて

→ P. 43

■ 吊りベルトの引き出し目安について

フックが地面に到達する直前まで吊りベルトを引き出すと、吊りベルトを車いすにセットする操作が容易になります。ただし、赤色テープが出てきたら、それ以上操作スイッチを下に押し続けないでください。操作スイッチを下に押しても吊りベルトが巻き上がる場合、P. 75 の「吊りベルトの出・入が逆の作動をしたときは」の操作をしてください。



■ 吊りベルトが引き出しにくいときは

操作スイッチを下に押したままフックを持って吊りベルトを下に引くと、ベルトが容易に引き出せます。

⚠️ 警告

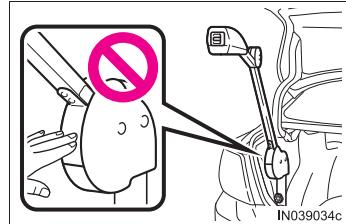
■ 手動車いす用収納装置を使用するときは

- 吊りベルトをアームレスト・車輪・ハンドリムなどにセットする位置は、できるだけ車いすの前後のバランスがとれる位置にしてください。

前後のバランスがとれないと、吊り上げると、車いすの姿勢が不安定になり、車いすが体にあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- アッパー・アームおよびアームの起立・格納をするときは、可動部付近に手をふれないでください。

手を挟み、けがをするおそれがあります。



- アームの起立・格納をするときは、アッパー・アームだけを持たないでください。アッパー・アームが不意に格納され、指を挟むなどけがをするおそれがあります。

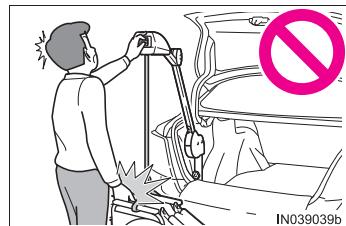
■ 車いすを収納するときは

- 手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。

- 頭上に注意してください。

手動車いす用収納装置やトランクリッドに手や頭をあて、けがをするおそれがあります。

- 車いすに手を添えるとき、車いすのアームレスト部に指を挟まないように注意してください。



注意

■ 手動車いす用収納装置を使用するときは

- アームの起立・格納をするときは、アームを持ちながらゆっくりと行ってください。また、アームを起こしたときは、確実にロックしたことを確認してから手を離してください。
- アッパー・アームを起こすときは、必ずアームをトランク外にいっぱいまで回転させた位置で行ってください。
アッパー・アームとバンパーがあたり、損傷するおそれがあります。
- 手動車いす用収納装置で車いす以外のものを吊り上げないでください。
吊り上げたものが落下して車両を損傷したり、手動車いす用収納装置が故障するおそれがあります。
- 車いすを吊り上げる際、P. 38 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。
手動車いす用収納装置の故障および車いすの収納・固定が困難になり、車両を傷付けるおそれがあります。
- 車いすを吊り上げる際、吊りベルトがぶれる部位に吊りベルトが傷付くような鋭利な突起物等がないことを確認してください。
吊りベルトが損傷するおそれがあります。
- 手動車いす用収納装置を固定後、アームを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。
▲マークが合う位置で確実にアームを固定しないと、走行中、アームが動き、車いすや車両などを損傷するおそれがあります。
- 収納ボードをセットした状態で、30kg 以上の重いものを載せないでください。収納ボードの変形、破損の原因となります。
収納ボードをセットした状態での耐荷重は 30kg です。
- 吊りベルトを車いすのアームレスト・車輪・ハンドリムなどにセットする位置は、できるだけ車いすの前後のバランスのとれる位置にしてください。
前後のバランスがとれていないと、吊り上げると、車いすの姿勢が不安定になり、車いすや車両を傷付けるおそれがあります。
- 吊りベルトをいっぱいまで巻き上げたら、それ以上操作スイッチを上に押し続けないでください。
手動車いす用収納装置が故障するおそれがあります。
- 車いすを収納する前に、必ずトランクリッドが全開になっていることを確認してください。
全開になっていないと、車いす収納時、トランクリッドとアッパー・アームがあたり、損傷するおそれがあります。

 注意

■車いすを固定するときは

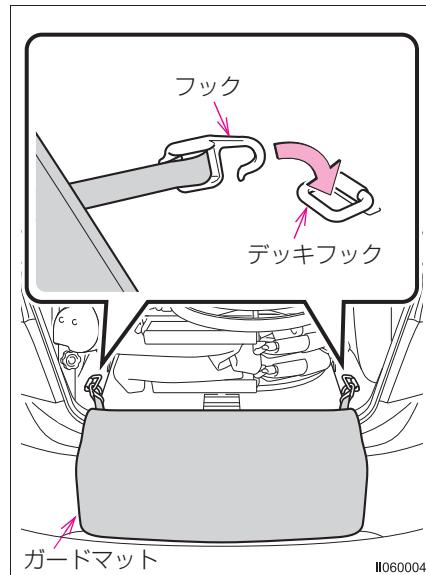
- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確實に固定されていることを確認してください。
走行中に車いすがトランクや手動車いす用収納装置などにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。
- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- トランクリッドはゆっくりと閉めてください。
トランクリッドをいきおいよく閉めると、車いすや手動車いす用収納装置がトランクリッドにあたり、損傷するおそれがあります。

トランク外への出しかた（B タイプ）

車いすをトランク外に出すときは次のように行ってください。

車いすをトランク外に出す前に

- ① 安全で平坦な場所にエンジンを作動状態のまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする（→ P. 34）
- ② 車両後方に十分なスペースがあることを確認する
- ③ ガードマットのフックをトランク内のデッキフックに引っかける
 - ・ ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
 - ・ 車いすをトランク外に出すときに、バンパーの傷付きを防止します。



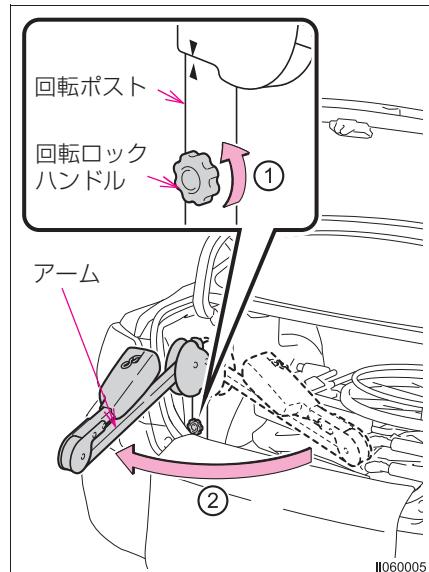
手動車いす用収納装置（電動式）のセットのしかた

1 アームを回転させる

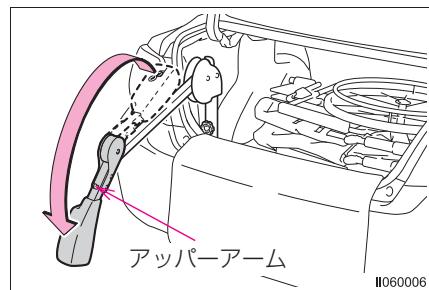
- ① 回転ロックハンドルを左にまわし、アームの回転ロックを解除する

回転ロックハンドルはまわし過ぎないようにしてください。（まわし過ぎると回転ポストからはずれます）

- ② アームをトランク外にいっぺりまで回転させる



2 アッパーアームを起こす

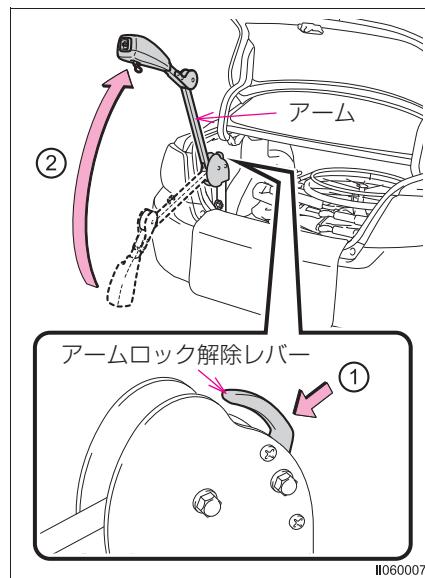


[3] アームを起こす

① アームを少し押し下げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

② アームを起こす

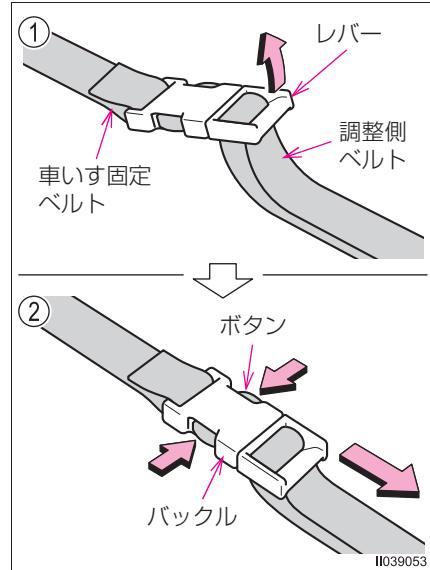
アームをいっぱいまで起こすと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



車いすの解除のしかた

① 車いす固定ベルトをゆるめる（2本とも）

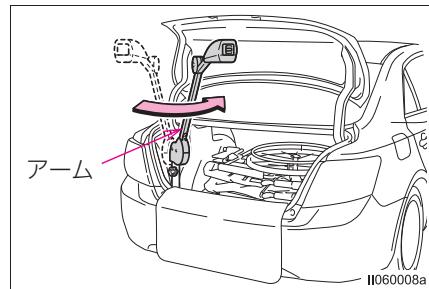
- ① 車いす固定ベルトのレバーを引き上げ、調整側ベルトをゆるめる
- ② バックルのボタンを押してロックを解除する



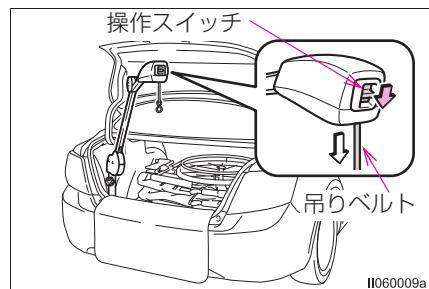
② 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトのフックを取りはずす（2本とも）

車いすの吊り上げ・トランク外への出しかた

- 1 アームをトランク内にいっぱいまで回転させる

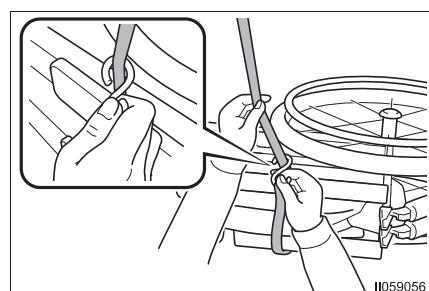


- 2 操作スイッチを下に押し続け、車いすに吊りベルトがかけられる長さまで、吊りベルトを引き出す
 ・十分な長さまで吊りベルトを引き出したら、スイッチから指を離してください。
 ・吊りベルトは引き出しすぎないでください。(→ P. 55)



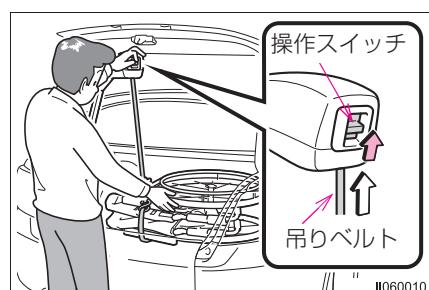
- 3 吊りベルトを車いすにセットする

車いすの前後のバランスがとりやすくなるように、吊りベルトをアームレスト・車輪・ハンドリムなどに通し、吊りベルトにフックを引っかけます。

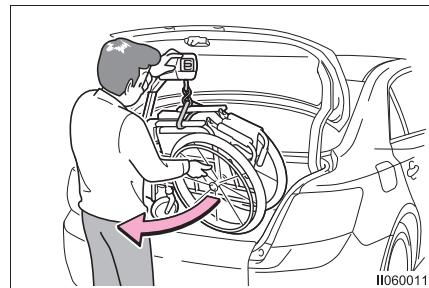


- 4 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトを巻き上げ、車いすを吊り上げる

車いすに手を添えて吊り上げてください。

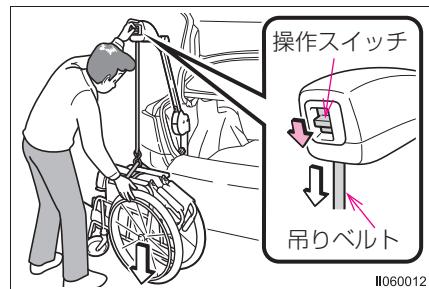


- 5** 車いすをアームごとトランク外にいっきいまで回転させる



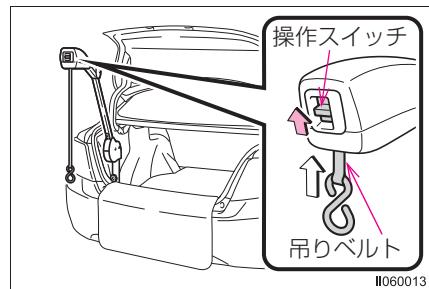
- 6** 操作スイッチを下に押し続け、車いすの車輪が地面に降りる長さまで吊りベルトを引き出す

- ・車いすに手を添えながら降ろしてください。
- ・車いすの車輪が地面に降りたら、スイッチから指を離してください。
- ・吊りベルトは引き出しすぎないでください。（→ P. 55）



- 7** 吊りベルトを車いすからはずす

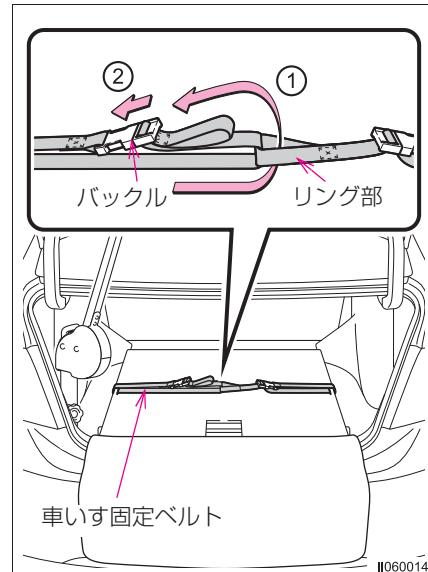
- 8** 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトをいっきいまで巻き上げる



車いすをトランク内に収納・固定しないときは

車いす固定ベルトがトランク外に出ないように固定します。

- ① 調整側ベルトのリング部に、もう片方の車いす固定ベルトを通す
- ② バックルをロックする。



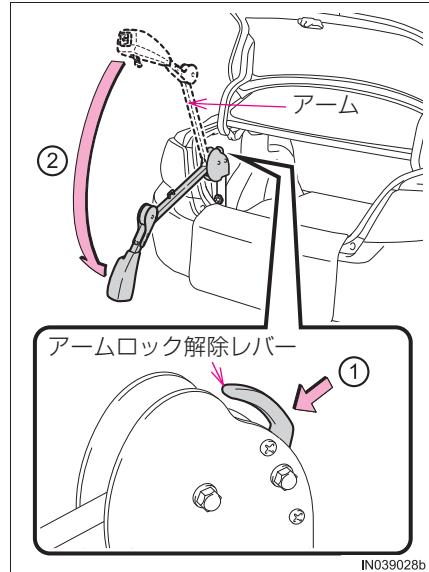
手動車いす用収納装置（電動式）の格納のしかた

1 アームを倒す

- ① アームを少し持ち上げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

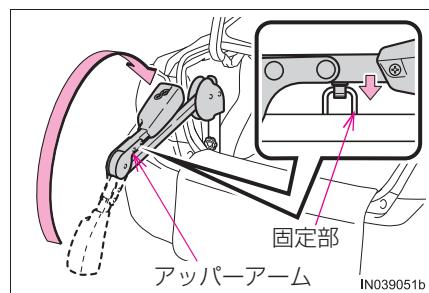
② アームを倒す

アームをいっぱいまで倒すと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



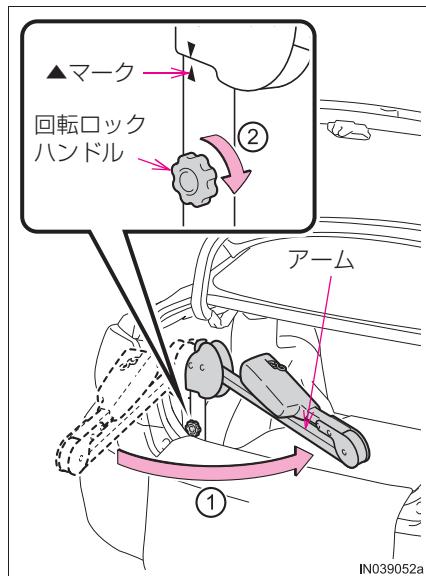
2 アッパーアームを格納する

固定部がしっかりとロックされたことを確認します。



3 アームを固定する

- ① アームを▲マークが合う位置まで回転させる
- ② 回転ロックハンドルを右にまわし、アームの回転をロックさせる



4 ガードマットをトランク内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

5 トランクリッドを閉める

ただちに走行しないときはエンジンを停止してください。

 知識

■車いすを収納・固定しないときは

車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルトをデッキボードやトランクリッドに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。（→ P. 65）

■吊りベルトが引き出しにくいときは

→ P. 55

 警告

■手動車いす用収納装置を使用するときは

→ P. 56

 注意

■手動車いす用収納装置を使用するときは

→ P. 57

ラゲージマットを取りはずすときは

パンクしたときなどで、ラゲージマットの開閉が必要なときは、次のように行ってください。

ラゲージマットの取扱いについては、標準車取扱書の『トランク内装備』『パンクしたときは』を併せて参照してください。

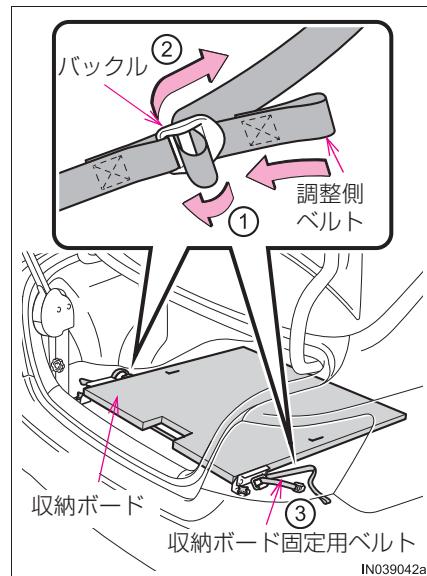
ラゲージマットを取りはずす前に

- 1 車いすがトランク内に収納・固定されているときは、車いすの固定を解除し、車いすをトランク外に出す（→ P. 44, 59）
- 2 車いす固定ベルトをトランクのすみによけておく（→ P. 41, 50）

ラゲージマットを取りはずすときは（B タイプ）

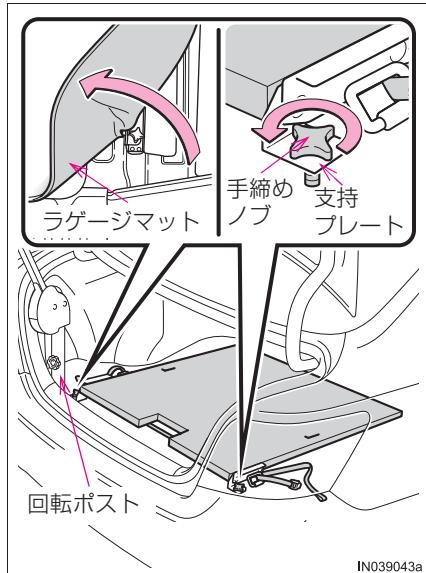
- 1 手動車いす用収納装置のアームを起こす（→ P. 48）
- 2 収納ボードからベルトをはずす

- ① 収納ボード固定用ベルトの調整側ベルトをバックルに押し込む
- ② バックルから引き抜く
- ③ 収納ボードからベルトをはずす



3 ラゲージマットをめくり、支持プレートの手締めノブをはずす

手締めノブは紛失防止のため、収納ボード取りはずし後、再度取りつけます。



IN039043a

4 収納ボードを取りはずす

5 回転ポストにあたらないように、ラゲージマットを取りはずす

もどすときは逆の手順で行います。

警告

■スペアタイヤ、ジャッキなどを取り出すときは

頭上に注意してください。

手動車いす用収納装置やトランクリッドに手や頭をあて、けがをするおそれがあります。

万一の場合には

4

4-1. 故障かな？とお考えになる前に

ヒューズの交換 (B タイプ)	72
助手席回転スライドシートが 動かないときは	74
手動車いす用収納装置 (電動式) が動かない ときは (B タイプ)	75

4-2. 緊急時の対処法

助手席回転スライドシートが 車外に出た状態で 動かないときは	76
--	----

ヒューズの交換 (B タイプ)

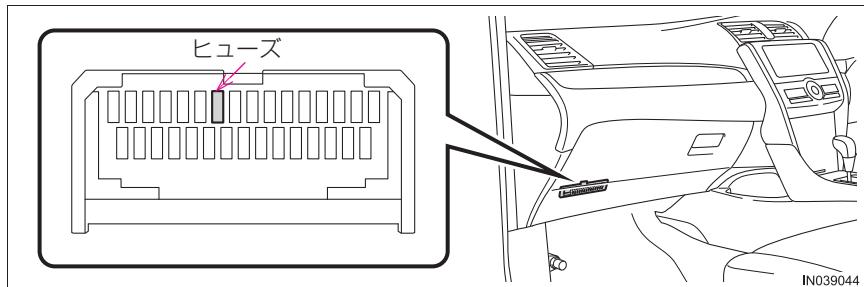
手動車いす用収納装置の操作スイッチを操作しても、吊りベルトの巻き上げ・引き出しができないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席側ヒューズボックス

助手席側ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の『ヒューズの点検・交換』をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
RR CRANE	30A	手動車いす用収納装置

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても手動車いす用収納装置の吊りベルトの巻き上げ・引き出しができないとき

 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

助手席回転スライドシートが動かないときは

次の処置をしてください。

回転レバーとスライドレバーの確認

助手席回転スライドシートの回転レバーとスライドレバーのロックが正常に行えるか確認して下さい。 (→ P. 27, 30)

回転レバーとスライドレバーの確認をしても動かない場合

すみやかに点検を受けて下さい。

修理が完了するまで、絶対に助手席回転スライドシートを使用しないで下さい。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けて下さい。

■ 車外に出た状態で動かない場合

トヨタ販売店または専門業者に、P. 76 以降の操作をご依頼ください。

手動車いす用収納装置（電動式）が動かないときは (B タイプ)

次の処置をしてください。

ヒューズの点検・交換

ヒューズを点検・交換してください。（→ P. 72）

ヒューズの点検・交換をしても動かない場合

トヨタ販売店で点検を受けてください。

吊りベルトの出・入が逆の作動をしたときは

吊りベルトを引き出すとき、赤色テープが出てきたあとも、さらに操作スイッチを下に押し続けると、その後、吊りベルトが逆転して巻き上がり始めます。

赤色テープは吊りベルトの終端であることを示します。

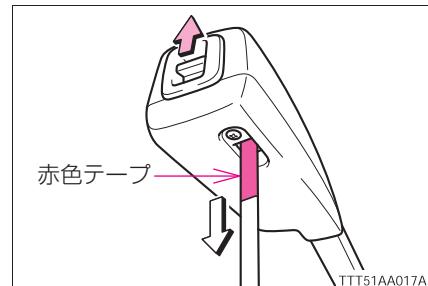
操作スイッチを上に押し続けると、吊りベルトが引き出されます

■ 正常作動へのもどし方

操作スイッチを上に押し続け、一度吊りベルトを出しきる

吊りベルトが巻き上がり始めたら、正常な状態になります。

スイッチ操作方向と吊りベルトの動く方向が同じになったら正常です



助手席回転スライドシートが車外に出た状態で動かないと きは

万一、助手席回転スライドシートが前後のスライドはできて回転レバーが引けなくなってしまったときは、助手席ドアを閉めることができません。

その場合は、トヨタ販売店または専門業者に、P. 77 「助手席回転スライドシートの前後スライドはできるが回転レバーが引けなくなったとき」の操作をご依頼ください。

使用工具について

助手席回転スライドシートを手動で車内にもどすときは、車載のホイールナットレンチを使用します。

ホイールナットレンチの搭載位置については、標準車取扱書の『パンクしたときは』を併せて参照してください。



ホイールナットレンチ

TTT51AE001A

助手席回転スライドシートを車内にもどす前に

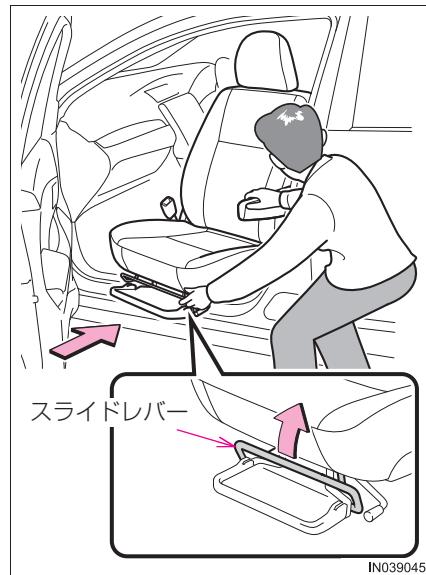
操作前に、次の状態を確認してください。

- 助手席回転スライドシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させること
- 助手席ドアが全開になっていること
- リヤシートに乗員がいないこと
- グローブボックスのフタが閉まっていること
- コンソールボックスのフタが閉まっていること
- サンバイザーが格納されていること
- 助手席回転スライドシートの下および周辺に荷物などが置かれていないこと

助手席回転スライドシートの前後スライドはできるが回転レバーが引けなくなったとき

- ①** スライドレバーを引き上げたまま助手席回転スライドシートを持って、停止する位置まで助手席回転スライドシートを押し込む

助手席回転スライドシートがいちばんうしろでロックしたことを確認します。



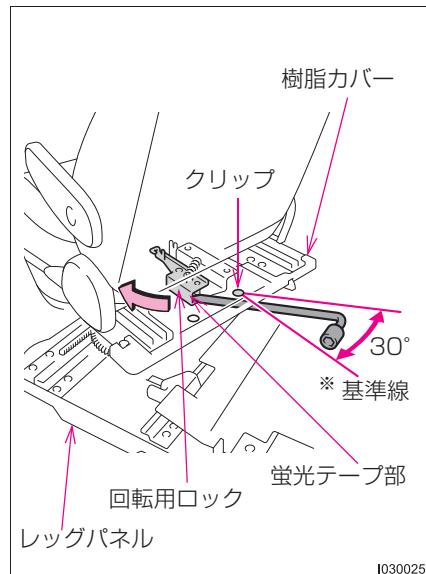
- ②** 車載のホイールナットレンチで助手席回転スライドシートの回転用ロックを解除しながら、助手席スライドシートを回転させる

- ① 助手席回転スライドシート格納部のレッグパネルと樹脂カバーのすき間から、クリップを目印に、基準線^{*}に対して30°方向にホイールナットレンチを挿し込む

* 基準線 … 助手席回転スライドシートに対して垂直方向の線

- ② 回転用ロックの蛍光テープ部を押しながら、助手席回転スライドシートを回転させる

助手席回転スライドシートの回転が始まったら、ホイールナットレンチを引き抜きます。



 知識

■回転用ロックについて

ホイールナットレンチで蛍光テープ部を押しながら、助手席回転スライドシートを回転させてください。助手席回転スライドシートの回転が始まる前にホイールナットレンチを引き抜くと、助手席回転スライドシートを回転させることができません。

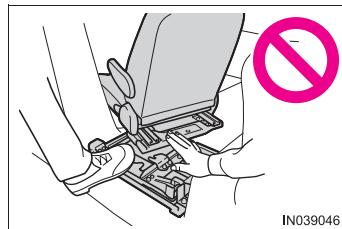
 警告

■修理が完了するまでは

助手席回転スライドシートに座らないでください。

■助手席回転スライドシートを手動で格納するときは

- 助手席回転スライドシート格納スペースに手や足を入れないでください。助手席回転スライドシート可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。

車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 80

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目	点検時期		交換時期(年)	備考
	日常点検	自家用車		
	12か月ごと	24か月ごと		
スライド助手席シート回転	回転レバー			
	回転作動時の引っかかり	<input type="radio"/>		
	回転ロックのガタ	<input type="radio"/>		ガタ（異音）がないこと
	レバーの遊び量・ロック状態	<input type="radio"/>		
	回転完了状態以外でロック解除できること	<input type="radio"/>		
手動収納車装い置き用	スライドレバー			
	スライドロックのガタ	<input type="radio"/>		ガタ（異音）がないこと
	作動時のひっかかり・異音・ベルトの巻き取り方向	<input type="radio"/>		操作時の接触不良がないこと
車ベルト固定	収納装置取付部のゆるみ・ガタ・損傷	<input type="radio"/>		
	吊りベルトの傷・ほつれ	<input type="radio"/>		ほつれが始まったら交換
車ベルト固定	ベルトの傷・ほつれ	<input type="radio"/>		ほつれが始まいたら交換

* 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	82
五十音順さくいん	83

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

故障かな？と思ったら



助手席回転スライドシートが回転しない

- 助手席回転スライドシートの前後位置が回転開始位置でロックされていますか？（→ P. 27, 29, 30, 32）



助手席回転スライドシートがスライドしない

- 助手席回転スライドシートが回転完了位置でロックされていますか？（→ P. 28, 29, 32）



助手席回転スライドシートが回転完了位置でロックしない

- 回転レバーを操作したまま助手席回転スライドシートを回転させていませんか？（→ P. 29, 32）

手動車いす用収納装置（電動式）について（B タイプ）



手動車いす用収納装置（電動式）が動かない

- ヒューズが切れていませんか？（→ P. 72）



吊りベルトの出・入が逆の動きをした

- 吊りベルトを引き出しすぎていませんか？（→ P. 75）

五十音順さくいん

あ

アームレスト	20
安全なドライブのために	
車いす・手動車いす用	
収納装置（B タイプ）の	
固定について	14
助手席回転スライドシート	
について	10

か

ガードマット	40, 44, 47, 59
回転レバー	28, 31
回転レバーが	
引けなくなったときは	77

き

緊急時の対処法	
助手席回転スライドシートが	
車外に出た状態で	
動かないときは	76

く

車いす	
固定・解除の	
しかた	42, 44, 53, 62
収納・固定前の準備	34
収納可能なサイズ	38
収納のしかた	40, 47
トランク外に出すときは ...	44, 59
トランク内に収納・固定	
しないときは	45, 65
トランク内に収納・固定	
するときは	41, 50
車いす	
固定ベルト.....	35, 42, 45, 53, 65

こ

故障かな？とお考えになる前に	
手動車いす用収納装置	
（電動式）が動かない	
ときは（B タイプ）	75
助手席回転スライドシートが	
動かないときは	74
ヒューズの交換（B タイプ）	72

し

収納可能な車いすのサイズ	38
収納ボード	
格納のしかた	37
収納ボード固定用ベルト ...	36, 69
セットのしかた.....	36
取りはずし	69
手動車いす用固定装置（A タイプ）	
ガードマット	40, 44
解除のしかた	44
車いす固定ベルト	42, 45
固定後、走行する前に	42
固定のしかた	42
手動車いす用固定装置（B タイプ）	
ガードマット	47, 59
解除のしかた	62
車いす固定ベルト	53, 65
固定後、走行する前に	55
固定のしかた	53

手動車いす用収納装置（電動式）	
(B タイプ)	
アーム	48, 60
アームロック解除レバー	49, 61
アッパー・アーム	48, 60
回転ロックハンドル	48, 60
格納のしかた	53, 66
車いすの吊り上げ	51, 63
故障かな？とお考えに	
なる前に	75
収納のしかた	47
セットのしかた	48, 60
操作スイッチ	51, 63
吊りベルト	51, 63
吊りベルトの出・入が	
逆の作動をしたときは	75
トランク外に出すときは	59
助手席回転スライドシート	
アームレスト	20
回転レバー	28, 29, 31
故障かな？とお考えに	
なる前に	74
車外に出すときは	27
車外に出た状態で	
動かないときは	76
車内にもどすときは	30
スライドレバー	16
前後スライドはできるが	
回転レバーが	
引けなくなったとき	77
操作をするときは	23
正しい乗車姿勢	22
調整	16
フットレスト	21
ヘッドレスト	18
リクライニングレバー	16

す	
スライドレバー	16
た	
正しい乗車姿勢	22
て	
定期点検整備記録簿	卷末
点検・整備項目	
定期点検整備	80
ひ	
ヒューズ (B タイプ)	
助手席側ヒューズボックス	72
ふ	
フットレスト	21
へ	
ヘッドレスト	18
ま	
万一の場合には	
故障かな？とお考えに	
なる前に	72
ら	
ラゲージマットの取りはずし	69
り	
リクライニングレバー	16

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願ひいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

0800-700-7700
フリーコール

オーブン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

トヨタ ウェルキャブシリーズ



1850305
NAI-2019年4月24日
2019年5月1日 初版
アリオン／プレミオ
助手席回転スライドシート車